

記者発表資料

## 道の駅「あおき」と長野大学との連携

～村の魅力を引き出し、観光振興による地域活性化を目指します～

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、長野大学と青木村の道の駅「あおき」及び関東地方整備局長野国道事務所の3者で連携企画型の実習を実施することとなりましたので、お知らせします。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いに連携・協力しあい、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。

### 【実習内容】

- ①学生による青木村の現地調査
- ②特産品を活かした新商品の開発  
(青木村限定栽培のそば「タチアカネ」を活用)
- ③青木村の歴史と風土を活かした観光PRの実施

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会  
長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

### お問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所  
副 所 長：中島 祥行（なかじま よしゆき） 計画課長：宮川 隆巳（みやがわ たかみ）  
住所：長野県長野市鶴賀字中堰145 電話：026-264-7009（計画課直通）

長野大学  
環境ツーリズム学部 教授：市川 正夫（いちかわ まさお）  
住 所：長野県上田市下之郷658-1 電話：0268-39-0001（代）

道の駅「あおき」  
担当係長：塩澤 和宏（しおざわ かずひろ）  
住所：長野県小県郡青木村大字田沢111 電話：0268-49-0111【青木村役場内】

# 道の駅「あおき」と長野大学との連携

道の駅「あおき」と長野大学（環境ツーリズム学部市川ゼミナール）の学生が連携し、道の駅を拠点とした取組で、村の魅力を引き出し、観光振興による地域活性化を目指します。

## 取組①

### 学生による青木村の現地調査

- 青木村の地域資源調査
- 道の駅「あおき」の利用状況調査
- 村民への聞き取り調査

学生が村内の調査や村民との交流を通して、青木村・道の駅の現状を把握し、村の魅力を調査します。

## 取組②

### 特産品を活かした新商品の開発

青木村限定栽培の蕎麦「タチアカネ」を活用したオリジナルメニューにより、青木村の新たな魅力を創出し、道の駅での商品化を目指します。

#### ■ 特産品



タチアカネ

## 取組③

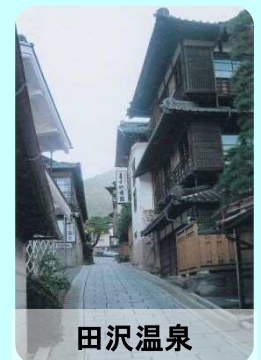
### 村の魅力を活かした観光PR

村の良さである歴史的建造物や古くからある温泉などを巡る観光ルートの提案や、案内マップの作成により、道の駅から村の魅力を発信します。

#### ■ 歴史的建造物や古くからある温泉



大法寺三重塔



田沢温泉

#### 【長野大学】

長野大学（所在地：長野県上田市）は、知の共同体の構築を理念に1966年に開学されました。環境ツーリズム学部は、社会の幅広い分野で活躍する「教養ある職業人」の育成を目指しています。

道の駅「あおき」との連携プロジェクトに参加する市川ゼミナールは、「地域活性化への寄与」をテーマに、地域の担い手を育成するための授業を行っています。

#### 【道の駅「あおき」】

平成17年に登録された道の駅。

農産物直売所では、村の特産品である「見返り漬け」や、秋には松茸をはじめとするキノコ類などを販売しています。

道の駅内のレストラン「味処こまゆみ」では、青木村限定栽培タチアカネの手打ちそばを食べることができます。